

特集 エコ生活ルーティーン

身近にある、取り組みやすいエコ行動をまとめた「環境行動11か条」をご存知ですか。環境行動を取り入れた理想の1日をご紹介します。「環境問題は気になるけど、何から始めたらいいかわからない」と考える皆さん、できることから始めてみませんか。

ゼロカーボンシティ
推進室
☎829-1251



8:00 水を大切に使う

使用した水は下水処理場でろ過して綺麗な水に戻すため、水を使えば使うほどエネルギー（電力）が必要になります。節水はCO₂削減につながります。

シャワーヘッド・アダプタ、洗濯機、トイレを節水型にすると水道・ガス代が約15,600円/年お得に！



8:30 緑を大切に

植物は私たちが排出したCO₂を吸収してくれます。



8:30 マイボトルを使う

ペットボトルを作る・処理するエネルギーを抑えられます。毎日使えば約41,000円/年お得です。



9:00 電気をつけっぱなしにしない

誰もいない部屋の電気を1日1時間消すと、電灯1つあたり560円/年の節約になります。

電灯のLED化で、電気代が約2,700円/年お得に！さらに、省エネ家電（エアコン・冷蔵庫）を使うと約18,800円/年お得に！買い替えの補助金があります。詳しくは5ページ。



今回の特集では、エコな生活の啓発をするかたやエコ家電の買い替えに使える補助金、市の取り組みを紹介します。

目指しましょう。

CO₂の排出が「実質ゼロ」とは一人ひとりが省エネルギーの取り組みを行うことでCO₂の排出量を減らし、さらに植林などを行い、排出したCO₂を植物などが吸収することです。自然環境とタッグを組んで、2050年までに排出量の実質ゼロを目指しています。資源を使いすぎることなく、地球環境を大切にしながら発展する「持続可能な社会」を目指しましょう。



2050年カーボンニュートラルイメージ (出典 環境省)

CO₂の排出が「実質ゼロ」とは一人ひとりが省エネルギーの取り組みを行うことでCO₂の排出量を減らし、さらに植林などを行い、排出したCO₂を植物などが吸収することです。自然環境とタッグを組んで、2050年までに排出量の実質ゼロを目指しています。資源を使いすぎることなく、地球環境を大切にしながら発展する「持続可能な社会」を目指しましょう。

STOP 大量生産・大量消費・大量廃棄



12:30 ゴミを正しく分別する

ペットボトルは資源ごみ

キャップはプラごみ



再分別の手間が省けます。間違った処理で有害物質が出て環境汚染になることも防げます。

買い物ついでにペットボトルを返却するとポイントがもらえる場合も！



12:00 食べ残しをしない

長崎県では食べ残しの食品ロスが1人1日あたり108g(おにぎり1個分)と言われています。ごみとして処分されるため、エネルギーを消費し、CO₂を排出してしまいます。



ごちそうさまでした！

食品ロス削減で日々の食費が約 8,900 円 / 年節約に！



14:30 マイバッグを使う

買い物に行こう

レジ袋を使わないことで廃プラスチックの量が減り、レジ袋の原料の石油使用量も抑えることができます。



14:00 修理して長く使う

新たな製品を作る・物を処分するエネルギーを減らせます。手入れしながら大切に使い続けましょう。



このおもちゃまだ使える...



18:00 家族と環境について話す

みんなで協力して環境のために行動しましょう。



SDGsってなに？



17:00 配達は1回で受け取る

再配達のための車のCO₂排出量が減ります。



ありがとうございます



15:00 公共交通機関や徒歩で移動する

1人当たりのCO₂排出量が減り、渋滞の解消にもなります。

近距離通勤を徒歩や自転車に切り替えるとガソリン代が約 11,800 円 / 年お得に！



歩いて行こう！



稲佐山公園の路面シート



塩田みうさん出演の動画



わたしからできるゼロカーボン

長崎市の環境行動11か条

上記のルーティーンは、「環境行動11か条」の11個すべてです。塩田みうさんが出演するPR動画の放送や、市内の公園へ路面シートを設置しているのを目にする機会も多いかも。見掛けたら自分の行動を見直すきっかけにしてください。

動画はこちら▶

